

工業振興、まちづくり全体にとっても大変大きく影響している。定住促進・企業誘致・福祉のまちづくりなど水道料の問題について、どのように考えているのか。また、都市間競争に負けない魅力ある笠岡の未来のため、思い切って水道料の引き下げを、高木市長最後の

花道にしてはどうか。

市長 市民の強い要望というのには十分私自身も肌で感じている。私は、市全体の土づくり、種まきに徹するのが私の任務であるとの思いで行政を運営してきた。水道料金についても、私が市長に就任したときには、約7億円程度の累積欠損金

もあつたが、その解消へ向けて、厳しい状況の中、値上げをせずに据え置いて取り組んできたわけで、この水道についても土づくりが終わったのではないかと思つている。花を咲かせるのは、次の市長の段階で十分検討していただきたい。

市役所職員の労働環境について

議員 職員が市民全体の奉仕者として、安心して働きたいのある職場環境が保障されなければならない。その対策はどのように進んでいるのか。

市長 職員の給与については、法の趣旨に基づき、人事院勧告に準じて取り組み、適切に対応していると考えている。また、勤務時間・休暇等の職員の勤務条件についても職員の働きやすい環境づくりに努めているところで、責任ある仕事ができる労働環境が整っているものと考えている。

笠岡市議会 維新の会

質問者 角田訓一郎
所属議員 野喜明文
藤井隆忠
大田月口
藤蔵大田

神島保育所の移転・建替について

議員 現在計画されている瀬戸地区は、洪水ハザードマップで内水氾濫危険箇所に指定されている。将来にわたって子どもたちの安全を保障できる場所を再度検討すべきと考える。

2月21日、市長名で神島保育所移転・建替事業の一時保留を示された。瀬戸地区移転に変更はないという前提での一時保留ではなく、瀬戸地区移転を断念すべきではないか。

市長 国や岡山県は防災計画を見直し中である。具体的な被害想定が示された後

に関係者と十分協議をしなから事業を推進していきたいと現時点では考えている。

議員 国・県が平成24年秋にそのような被害想定を示したら、本市としての被害想定を取りまとめは、いつごろできるのか。

健康福祉部長 県の方からかなり精度の高いものが秋には示されるのではないかと、その辺りが一つの判断の時期かなとは考えている。

議員 なぜ、瀬戸地区移転にこだわるのか。

市長 過去の色々なききつがあつて、このような状況になつているので、決して片意地にここでないとはめだということではなく、被害想定の結果を見て、もう一度関係者で協議をしましょうということである。

議員 今まで約4、172万円の執行をして、今後予想される費用が、道路の拡幅4千万円以上、造成設計委託数百万円、用地造成工事数千万円など。それから、

道路の拡幅に関して一部地権者の同意を得られていない。

市長 には、最大限の努力をして、この問題に筋道をつけてもらいたいと思うが、どうか。

市長 神島でほかに本当に考えられる場所があれば、お互いに考えていくということも努力していかなければならない。いくら、まちづくり協議会が決定したといつても、安全かどうかといつのは今の段階では胸を張つて言い切れないので、秋まで待つてくださいというふうことである。一生懸命努力してこのような結果を出したと思つている。



神島保育所建設予定地